



ネットモラル

家庭で求められる 情報モラル教育



富山大学人間発達科学部
高橋純 准教授

学校での情報モラル教育が浸透してきた今、「家庭での情報モラル教育」の重要性が高まっています。なぜ家庭での情報モラル教育が重要なのでしょうか。警察庁が発表したデータや文科省が行っている「全国学力・学習状況調査」のデータをもとに富山大学人間発達科学部の高橋純・准教授が語ってくれました。

たとえば、「携帯電話で通話やメールをしていますか」という質問では、「携帯電話を持つていない」と答えた生徒の点数が全教科ともに最も高くなりました。「ほぼ毎日している」と答えた生徒と比べると、4ポイント前後の差がついたのです。また「携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問では、「守っていない、または約束はない」と答えた生徒よりも、「きちんと守っている」と答えた生徒の方が全教科で点数が高くなりました。

「依存」を防ぐための ルール作り

これから2つのデータから、子どもたちを危険から守るとともに、学力の低下を防ぐには、学校だけでなく家庭の役割が重要であることが分ります。学校と家庭が車の両輪となつて、子どもたちに情報モラルを育んでいく必要があるのです。

では、家庭でどのような指導を行えばいいのでしょうか。最も大切なことは「依存させない」ことです。ケータイやネットを長時間利用すればするほど悪意を持つている人に出遭う機会は増え、危険性も高まります。また家にいるときも友達に気を使つてチャットやメールのやりとりで追われてしまうと、自分の時間や家庭でのコミュニケーションも失われてしまいます。精神的にも参ってしまうでしょう。

「依存」こそが、多くの問題の根源。以前問題になった「メール」も、今問題になっている「無料通話アプリ」も、依存するから問題が起きるのです。逆に言えば、依存せずに適切に携帯電話やネットを利用する姿勢さえあれば、今後どんな新しいサービスやアプリが出てきたとしても、問題は起

保護者も正しい知識を

こりにくいと思います。「依存」を防ぐには、使用する目的を家族で話し合い、使用できる時間や時間帯を決める、ケータイの充電はリビングに限る、など家庭でのルールを子どもと一緒に作ることが大切です。またルールは成長に合わせて変えてあげることも重要です。さらに、フィルタリングやそれぞれの機器の機能制限を設定することで、有害サイトへのアクセスや使い過ぎなど、ある程度防止することができます。

情報モラルの欠如が原因となつて起きる問題は、マスコミが報じるような大きな事件に巻き込まれることだけではありません。もっと身近な危険がたくさん潜んでいます。たとえば、歩きスマホをしていて交通事故にあつてしまつたり、メールやSNSで友達との人間関係が壊れてしまつたりすることがあり、誰もがトラブルに遭う危険性を持っています。「うちの子に限っては大丈夫。マスコミが報じているような大きな事件には巻き込まれるはずがない」と、決めて油断しないでください。

学校と家庭が車の両輪となつて子どもに情報モラル教育を行いましょ。そのためには、保護者が情報機器や情報社会の正しい知識を豊富に持つことが大事です。そうすることで、子どもの情報モラルも向上し、子どもを健やかに育むことに繋がるのです。

(取材 長井寛)



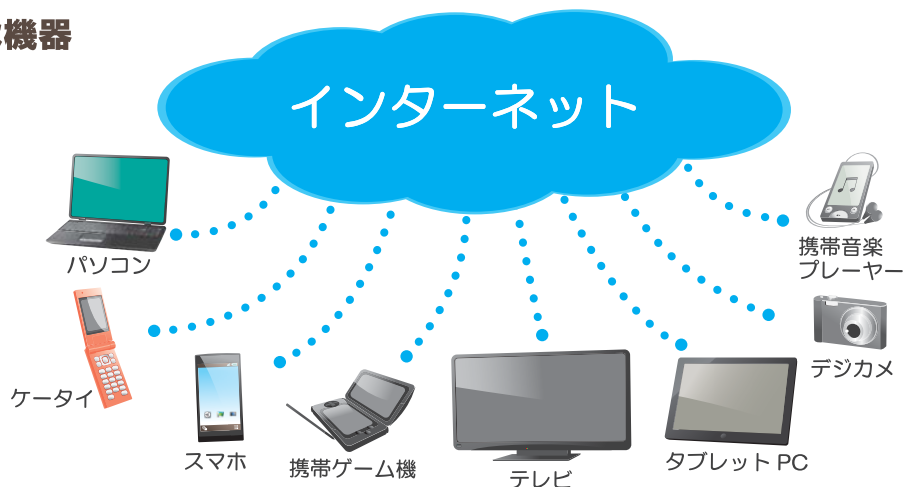
ネットと上手につきあうために

保護者のみなさまへ

インターネットに接続できる便利な機器

パソコン、スマートフォンだけでなく、テレビ、デジカメなど様々な機器がインターネットに接続できるようになりました。また、子どもたちが日常的に使用している携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤーも簡単に接続できるようになりました。

大人が知らない間に、また、使っている子どもたち自身も気がつかない間にインターネットに接続してしまっている場合があります。子どもたちが使っている機器の特徴とインターネット接続機能を把握しましょう。



いつでも、どこでも、インターネット

最近では、無料でインターネットに接続できるWi-Fi（ワイファイ）が私たちの住んでいるいたるところに設置されています。コンビニ、飲食店、ショッピングモール、空港などでスマホや携帯ゲーム機にある「接続ボタン」を押すだけでインターネットを利用できるWi-Fiもあります。

！ Wi-Fi(ワイファイ)とは

無線でネットワークに接続する技術のこと。インターネットにつながっている親機（ルーターなど）がWi-Fiの機能を備えた子機（スマホやパソコンなど）からの接続を受け付けると、電話回線などの契約をしていなくてもインターネットが利用できます。

ペアレンタルコントロール

保護者が視聴するコンテンツやサービスを制限したり、使用できなくしたりすること、もしくは設定できる機器やソフトウェアの機能のことをペアレンタルコントロールと言います。子どもたちがトラブルに巻き込まれないよう適切な設定を行いましょう。

フィルタリング

不適切なサイトや悪意のあるページを遮断して、閲覧できなくするソフトウェアのこと。青少年ネット規制法によって未成年が利用するケータイ等へのフィルタリングサービスの提供を携帯電話事業者などに義務付けている。

※フィルタリング機能だけでは万全ではありません。機器による機能制限を設定する、家庭でルールを作ることなどが大切です。



機器による機能制限

特定のソフトウェア（アプリなど）を起動できなくしたり、インターネットに接続できないよう制限を加えること。制限できる内容は、機器によっていろいろ用意されている。

※「機能制限」の多くは機器の「設定」画面から案内に従って設定し、勝手に変更できないようにパスワードをかけてロックします。

